

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年7月15日（金）10時30分～11時20分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
新井安全審査官、小西係長、高木係長、横山係長  
澁谷企画調査官、松田室長補佐、大辻室長補佐（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一原子力規制事務所  
黒川原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）増設について
    - ✓ 使用済吸着塔一時保管施設（第三施設）は使用見込みのない KURION 等格納用ボックスカルバート 64 基分の撤去工事を実施中であること。
    - ✓ 撤去した場所には HIC 格納用ボックスカルバート 192 基分の増設を予定しており、今後実施計画の変更認可申請を予定していること
    - ✓ 2023 年 5 月からの運用開始を目標としていること。
    - ✓ 耐震クラス分類の設定に必要な安全機能喪失時の線量評価の詳細については、今後解析結果なども示しながら説明を行うとしていること。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）増設について、以下のとおりコメントした。
  - 運用開始までのスケジュールについては、過去に一度申請を取り下げた 192 基分の増設の必要性に加えて、実施計画の変更認可申請の審査に要する期間を踏まえて示すこと。
  - 現状の HIC の保管容量及び今後の発生数を踏まえた HIC 全体の管理・保管計画について説明すること。
  - 東京電力が実施した施設の安全機能が喪失した際の線量評価は耐震 B クラス程度の結果が得られるような条件設定になっているため、変更認可申請後の審査においては、耐震クラス分類の設定に際して必要な敷地境界における線量評価について、既設分を含む施設全体としての影響の扱いを整理した上で、当該線量評価の詳細を説明すること。

## 6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール（2022 年 6 月 30 日現在）
- 水処理設備運転状況、運転計画（2022 年 7 月 1 日～2022 年 8 月 4 日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2022 年 7 月 1 日～2022 年 7 月 14 日）
- 建屋内における残水等の状況について
- 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）増設について

以上